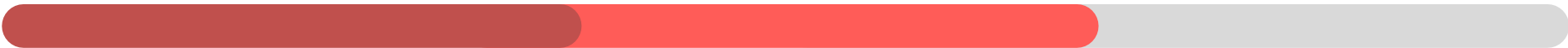


2026年3月期 第2四半期

決算説明資料



2025年11月13日

エンシュウ株式会社

(東証スタンダード 6218)

INDEX

1. 連結業績サマリー
2. 部品加工事業
3. 工作機械事業
4. 構造改革進捗
5. 財務状況
6. 配当予想
7. 参考情報

将来見通しに関する注意事項及び免責事項

本資料に掲載されている情報には、業績予想・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

また、本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。

1. 連結業績サマリー：第2四半期連結業績

2025年度 決算要旨

第2四半期実績：構造改革効果により2023年度下期以来の黒字化達成

- ・対前年同期減収も、売上変動に合わせた構造改革による固定費削減効果により営業黒字を維持
- ・経常利益は赤字になるも、減産補償による特別利益により当期純利益黒字化

2025年度下期業績予想(対上期比)：2023年度以来の通期黒字化を見込む

- ・部品加工事業は外部環境の悪化リスクを厳しく織り込み減収減益予想も、通期の全社連結ベースでは黒字を確保
- ・工作機械事業は増収に転じることや、構造改革効果等により営業黒字を予想(半期黒字化は2023年度下期以来)

(単位:百万円)	2024年度 上期実績	2024年度 下期実績	2025年度 上期実績	2025年度 下期見通	2024年度 通期実績	通期業績予想 11/13修正	通期業績予想 5/15公表
売上高	11,159	10,726	9,435	9,564	21,886	19,000	20,000
部品加工事業	5,894	6,051	6,343	5,556	11,945	11,900	11,900
工作機械事業	5,230	4,639	3,055	3,944	9,869	7,000	8,000
営業利益 (営業利益率)	△476 (△4.3%)	△228 (△2.1%)	19 (0.2%)	230 (2.4%)	△705 (△3.2%)	250 (1.3%)	450 (2.2%)
部品加工事業	30 (0.5%)	341 (5.6%)	305 (4.8%)	144 (2.6%)	371 (3.1%)	450 (3.8%)	500 (4.2%)
工作機械事業	△532 (△10.2%)	△594 (△12.8%)	△311 (△10.2%)	61 (1.6%)	△1,126 (△11.4%)	△250 (△3.6%)	△100 (△1.3%)
経常利益	△611	△332	△26	76	△943	50	150
当期純利益	△626	△1,634	67	△17	△2,261	50	100
為替レート (USD/JPY) (EUR/JPY)	154 167	152 161	146 166	147 174	153 164	147 170	135 156

2. 部品加工事業：連結売上高・営業利益

第2四半期実績

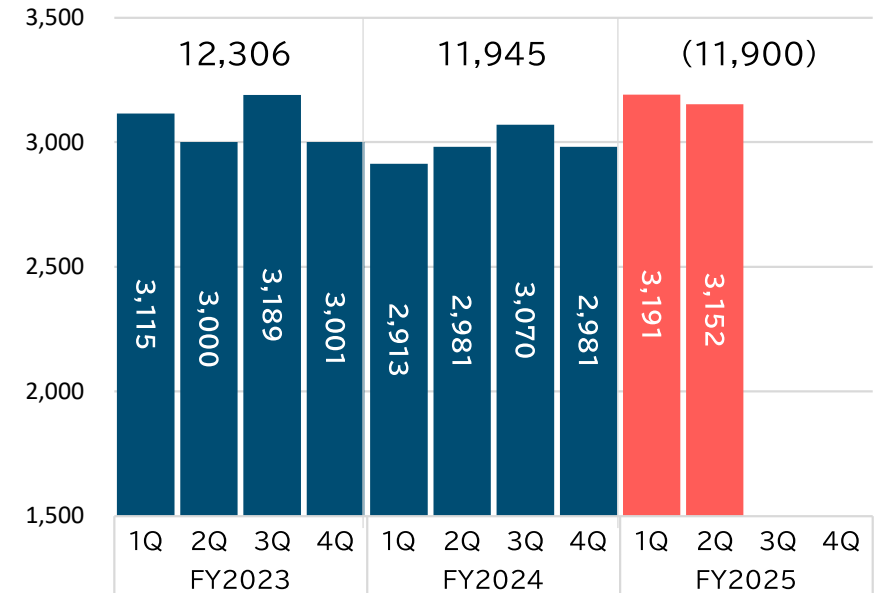
二輪・船外機等の仕事量増加により増収増益

- ・ 既存部品の仕事量増加に加え、EV及び船外機関連の新規ラインの稼働本格化が収益に寄与
- ・ 価格転嫁交渉の進捗により収益改善

下期業績見通し(対上期比)

外部環境の悪化影響により減収減益

- ・ 客先の生産調整等の影響を厳しく織り込み減収減益を予想
- ・ 通期では前期並みの売上高を確保し増益を予想
- ・ 来期以降の中期的な売上拡大に向けて営業活動を推進



(単位:百万円)	2024年度 上期実績	2024年度 下期実績	2025年度 上期実績	2025年度 下期見通	2024年度 通期実績	通期業績予想 11/13修正	通期業績予想 5/15公表
売上高	5,894	6,051	6,343	5,556	11,945	11,900	11,900
営業利益	30	341	305	144	371	450	500
営業利益率	0.5%	5.6%	4.8%	2.6%	3.1%	3.8%	4.2%

3. 工作機械事業：連結売上高・営業利益

第2四半期実績

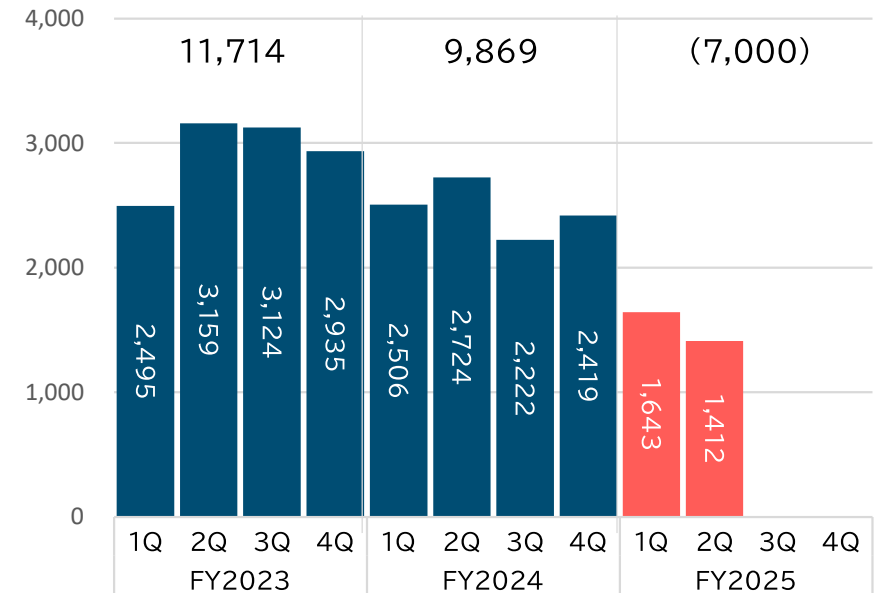
構造改革効果により損益改善(赤字幅縮小)

- ・ 売上減少傾向の中、適時な構造改革を実行し損益改善
- ・ 共同開発型などの新事業領域の売上は着実に増加

下期業績見通し(対上期比)

売上減少は下げ止まりの兆し、増収・黒字化

- ・ 中国向けシステム案件や北米の汎用機販売等の増加により増収
- ・ 構造改革施策の継続、経費削減により営業黒字化を見込む
(半期黒字化は2023年度下期以来)



(単位:百万円)	2024年度 上期実績	2024年度 下期実績	2025年度 上期実績	2025年度 下期見通	2024年度 通期実績	通期業績予想 11/13修正	通期業績予想 5/15公表
売上高	5,230	4,639	3,055	3,944	9,869	7,000	8,000
営業利益	△532	△594	△311	61	△1,126	△250	△100
営業利益率	△10.2%	△12.8%	△10.2%	1.6%	△11.4%	△3.6%	△1.3%

3. 工作機械事業：地域別連結売上高

第2四半期実績

システム案件の減少により減収

- ・ 国内、北米、アジア(インド)：システム案件が減少
- ・ 国内：レーザー加工機等の新事業案件は売上拡大
- ・ アジア(中国)：OEM案件の生産量減少

下期業績見通し(対上期比)

国内・海外ともに売上増加を見込む

- ・ 国内：医療業界向け専用機が売上伸長
共同開発型案件も着実に増加
- ・ 北米：汎用機販売を促進し売上が増加
- ・ アジア(中国)：受注済システム案件が下期に売上予定

(単位:百万円)	2024年度 上期実績	2024年度 下期実績	2025年度 上期実績	2025年度 下期見通	2024年度 通期実績	通期業績予想 11/13修正	通期業績予想 5/15公表
売 上 高	5,230	4,639	3,055	3,944	9,869	7,000	8,000
国 内 売 上	2,302	2,101	1,514	1,806	4,403	3,320	3,630
海 外 売 上	2,928	2,538	1,541	2,140	5,467	3,680	4,370
ア ジ ア	1,684	1,032	592	1,118	2,715	1,710	2,250
北 米	976	1,302	752	878	2,277	1,630	1,860
欧 州	269	205	196	144	474	340	260

3. 工作機械事業：連結受注状況

新事業領域の受注が国内中心に増加

- ・ 第2四半期実績：医療業界向け専用機や自動車メーカー向けレーザー加工機を受注
- ・ 下期見通：中国メーカーからの引合増加、国内外のシステム案件の受注増加を見込む

(単位:百万円)	2024年度 第2四半期	2025年度 第2四半期	前年同期比 増減率	2025年度 通期見通	【参考】日工会受注推移		
					(単位:百万円)	2025年度 第2四半期	前年同期比 増減率
受 注 高 総 額	3,532	3,422	△3.1%	7,000	受 注 高 総 額	779,770	+5.5%
国 内 受 注 高	1,406	1,756	+24.9%	2,800	国 内 受 注 高	218,250	△1.4%
海 外 受 注 高	2,126	1,666	△21.6%	4,200	海 外 受 注 高	561,520	+8.4%
受 注 残 高	3,864	3,080	—	2,718	自 動 車 (国 内)	38,181	△18.4%

※集計期間:本社・子会社(日・印):4月～9月、子会社(日・印除く):1月～6月

4. 構造改革進捗：黒字化に向けた両事業の取組状況

部品加工事業

売上拡大に向けた新規生産案件の取り込み

2024年度：EV関連部品の新規ライン立ち上げ(完了) ※2025年度売上本格化

2025年度：船外機関連部品の新規ライン立ち上げ(完了)

- ・ 新規案件の取込計画は順調に進んでおり、今後の売上拡大に寄与
- ・ 生産開始前での課題つぶし込み、ライン別採算管理の徹底によりFS(※)達成を目指す

収益力向上に向けた現場主導の改善活動

- ・ ライン別/工長別目標管理と改善のCAPD(※)サイクル展開
- ・ 変化点管理を徹底し、品質ロスのミニマム化・再発防止を図る

※FS：フィージビリティースタディーの略、事業計画・採算計画など

※CAPDサイクル：PDCAの内、まず現状の確認C(チェック)から効率化を始めるマネジメントサイクル

4. 構造改革進捗：黒字化に向けた両事業の取組状況

工作機械事業

①「開発型機械製造業」、「SIer & IoT」ビジネスの拡大

- ・ 開発型機械製造業：自動車業界に加え、医療業界や半導体分野において成果
 - ★医療業界：歯科加工機 量産開始により順調に受注拡大
 - ★自動車業界：BEVモーター向け自動化対応実証機受注
ピストン用レーザー加工専用開発機を受注
 - ★半導体業界：半導体に特化した専用加工機の共同開発、来期以降の売上を展望
- ・ SIer & IoT：自動車業界中心にDX化・自動化受注拡大、自動車業界以外からも引き合い多数



▶医療業界向け
株式会社ジーシー様
Aadva ミル スーパーリア

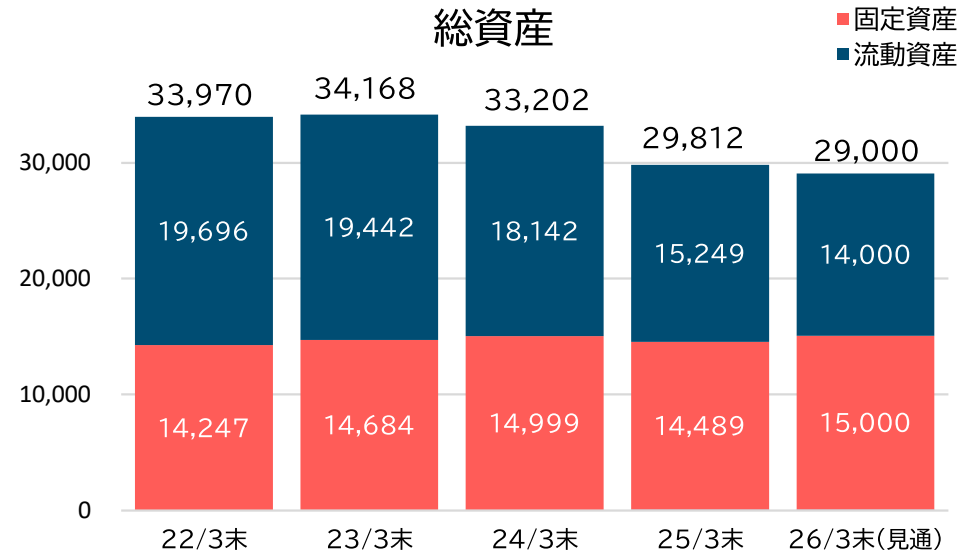
②「サービス体制」、「改造案件対応」強化

- ・ ICE(内燃機関)向け設備投資停滞、EV向け設備投資本格化遅れ
⇒ 既存設備への保全サービスと改造ニーズ需要増加
 - ★サービス部門を増強、既存設備の改造対応にも注力し収益確保
- ・ 営業体制を一新し、顧客ニーズをキャッチしていく

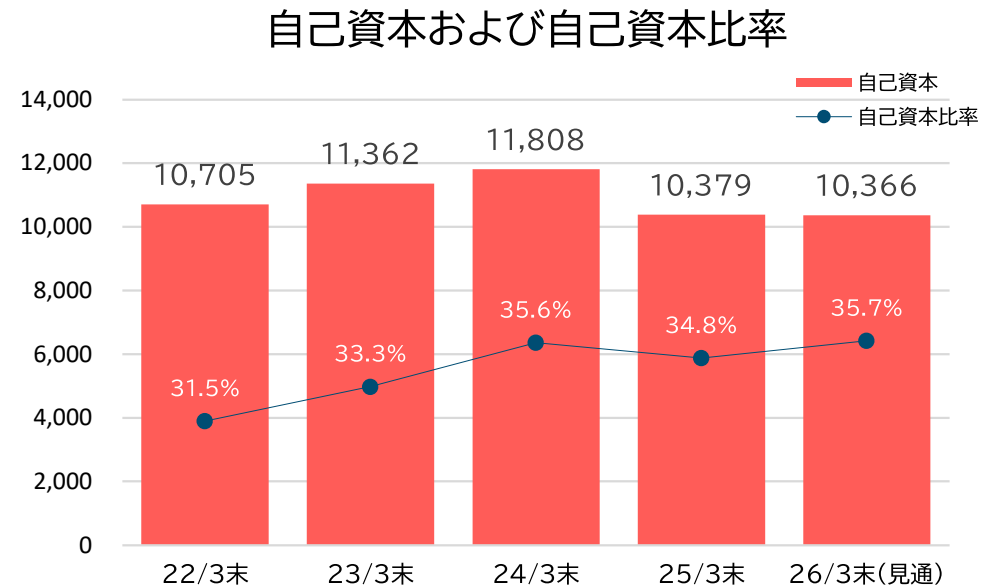
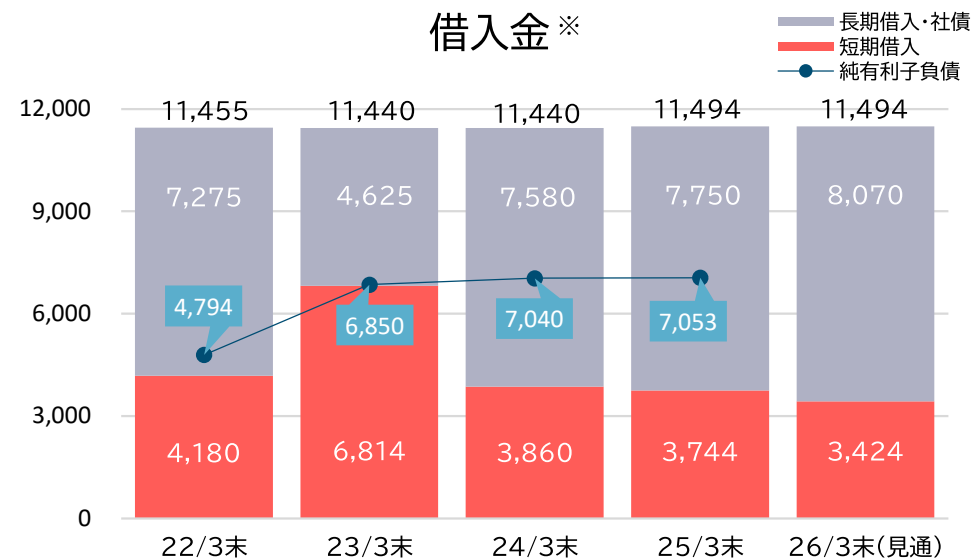
③「売上変動に対する構造改革実行」

- ・ 今期の売上減少に対する構造改革は実施済み
- ・ 今後も、売上の変動に対してタイムリーに追加の構造改革を実行

5. 財務状況：総資産・借入金・自己資本比率



(単位:百万円)	2025/3末 実績	2025/9末 実績	増減額
資産			
流動資産	15,249	12,760	△2,489
固定資産	14,489	15,146	+656
繰延資産	72	61	△11
負債			
流動負債	9,420	8,064	△1,355
固定負債	10,012	9,874	△137
純資産	10,379	10,028	△350
総資産	29,812	27,968	△1,844



6. 配当予想

普通株式に係る年間配当

2026年3月期末配当につきましては、
通期業績予想や安定的な株主還元等を勘案し、**1株当たり10円**を予想しております。

	普通株式1株当たり配当金					
	2021年 3月期末	2022年 3月期末	2023年 3月期末	2024年 3月期末	2025年 3月期末	2026年3月期末 予想
普通配当	円銭 5.00	円銭 13.00	円銭 13.00	円銭 13.00	円銭 10.00	円銭 10.00
配 当 性 向	12.6%	22.1%	—	37.0%	—	126.1%
配 当 利 回 り	0.51%	1.81%	1.93%	1.89%	2.02%	1.95%
DOE (自己資本配当率)	0.3%	0.8%	0.7%	0.7%	0.6%	
当期純利益	250	370	△104	221	△2,261	50

7. 参考情報：会社概要

商 号	エンシュウ株式会社
証 券 コ ー ド	東証スタンダード 6218
設 立	1920年2月5日
本 社 所 在 地	〒432-8522 静岡県浜松市中央区高塚町4888番地
代 表 者	代表取締役会長 勝倉 宏和 代表取締役社長 鈴木 敦士
資 本 金	46億4,085万円
連結子会社数	10社（海外9社）
従 業 員 数	829名（連結） ※2025年9月末
事 業 内 容	●工作機械及び部品の製造並びに販売 ●二輪車用エンジン・バギー車・雪上車・ゴルフカー マリン及び四輪車の部品加工
決 算 期	3月末
単 元 株 式 数	100株